

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)
[共催] 同志社大学 アメリカ研究所／神学部・神学研究科
[後援] 共同通信社、読売新聞社、京都日米協会

CISMOR 第2プロジェクト

公開シンポジウム

中間選挙後のアメリカの政治と社会

<パネリスト>

佐々木 卓也 (立教大学法学部 教授)
飯山 雅史 (読売新聞調査研究本部 主任研究員)
会田 弘継 (共同通信社 編集委員室長)
森 孝一 (神戸女学院 理事長・院長)

<モデレーター>

村田 晃嗣 (同志社大学法学部 教授/CISMOR 幹事)

2011 年 1 月 15 日(土) 15 : 30－17 : 40
同志社大学 今出川キャンパス
明德館 1 階 M1 教室

入場無料・事前申込不要

*お問い合わせ先

同志社大学 一神教学際研究センター(CISMOR)

TEL. 075-251-3972

E-mail: info@cismor.jp

HP: <http://www.cismor.jp/>

【 プログラム 】

1) 開会挨拶／問題提起	15 : 30－15 : 40	村田 晃嗣
2) プレゼンテーション	15 : 40－15 : 55	「折り返し地点を迎えたオバマ外交 ―その成果と展望」 佐々木 卓也
	15 : 55－16 : 10	「ティーパーティーと福音派」 飯山 雅史
	16 : 10－16 : 25	「ティーパーティー運動の思想背景」 会田 弘継
	16 : 25－16 : 40	「ティーパーティーと福音派の多様化」 森 孝一
3) ディスカッション	16 : 40－17 : 10	
4) 質疑応答	17 : 10－17 : 35	
5) 総括	17 : 35－17 : 40	村田 晃嗣

【 登壇者紹介 】

パネリスト：	佐々木 卓也	(立教大学法学部教授)
	飯山 雅史	(読売新聞調査研究本部主任研究員)
	会田 弘継	(共同通信社編集委員室長)
	森 孝一	(神戸女学院理事長・院長)
モデレーター：	村田 晃嗣	(同志社大学法学部教授／CISMOR 幹事)

佐々木 卓也 (ささきたくや) 立教大学法学部 教授

1958 年生まれ。一橋大学法学部卒業、同大学院法学研究科博士課程単位修得、現在立教大学法学部教授、博士（法学）。

主な編著作に、『アイゼンハワー政権の封じ込め政策―ソ連の脅威、ミサイル・ギャップ論争と東西交流』（有斐閣、2008 年）、『戦後アメリカ外交史』新版（有斐閣、2009 年）など。

飯山 雅史（いいやままさし） 読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員

1957 年生まれ。一橋大学社会学部卒業、米ジョージタウン大学国際関係大学院修士課程修了。1980 年読売新聞社入社（東京）。政治部、ワシントン特派員、リオデジャネイロ特派員や国際部などを経て、2006 年 8 月より調査研究本部管理部長、2009 年 4 月より現職。東京大学大学院法学・政治学研究科客員教授、同志社大学一神教学際研究センター共同研究員。専門はアメリカ政治・外交、中南米地域研究。

著書に『アメリカの宗教右派』（中公新書ラクレ、2008 年）、『米国における宗教右派運動の変容』（立命館国際問題研究、2008 年）、世界政治叢書『アメリカ・カナダ』（共著）など。

会田 弘継（あいだひろつぐ） 共同通信社 編集委員室長

1951 年生まれ。東京外国語大学卒業。1976 年共同通信入社、共同通信ワシントン支局記者（1989～91 年）、ジュネーブ支局長（1993～97 年／1999～2000 年）などを経て 2002 年 8 月～05 年 7 月ワシントン支局長、2005 年 7 月から編集委員兼論説委員、2010 年 6 月から現職。

著書に『追跡・アメリカの思想家たち』（新潮選書）、『戦争を始めるのは誰か』（講談社新書）。

訳書にフランシス・フクヤマ著『アメリカの終わり』（講談社）など。「中央公論」や「フォーサイト」（新潮社）に寄稿多数。オンライン版フォーサイトに「国際論壇レビュー」を連載中。

同志社大学一神教学際研究センター共同研究員、関西大学客員教授、東京外国語大学や上智大学で非常勤講師（2006～10 年）としてアメリカ政治やジャーナリズムを講義。

森 孝一（もりこういち） 神戸女学院 理事長・院長

1946 年生まれ。同志社大学大学院神学研究科修士課程、米国・バークレー神学大学院連合（Graduate Theological Union）博士課程修了。Th. D.（神学博士）。専門はアメリカ宗教史。同志社大学神学部教授、同大学一神教学際研究センター長を経て、2010 年 4 月より現職。同志社大学名誉教授、一神教学際研究センター参加研究者。

著書には、『宗教からよむ「アメリカ」』（講談社選書メチエ）、『「ジョージ・ブッシュ」のアタマの中身ーアメリカ「超保守派」の世界観』（講談社文庫）、『アメリカと宗教』（編著、財団法人日本国際問題研究所）、『多文化主義のアメリカー揺らぐナショナル・アイデンティティ』（共著、東京大学出版会）、『EU とイスラームの宗教伝統は共存できるかー「ムハンマドの風刺画事件」の本質』（編著、明石書店）、『ユダヤ教・キリスト教・イスラームは共存できるかー一神教世界の現在』（編、明石書店）、『アメリカのグローバル戦略とイスラーム世界』（共編著、明石書店）など。

村田 晃嗣（むらたこうじ） 同志社大学法学部教授

同志社大学法学部卒業。米国ジョージ・ワシントン大学留学（フルブライト奨学生）を経て、神戸大学大学院博士課程修了。広島大学総合科学部専任講師、助教授などを経て、2005 年より現職。専攻はアメリカ外交、安全保障政策研究。著書に『現代アメリカ外交の変容』『大統領の挫折』（いずれも有斐閣）など多数。サントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞など受賞。京都経済同友会特別会員。京都日米協会理事。

<次回ご案内>

公開講演会

Jews and Christians, Jews and Muslims:

The Interactions of These Religions in Historical and Cultural Perspective

(ユダヤ教徒、キリスト教徒、ムスリムの相互作用－歴史的、文化的見地から)

【日時】 2011年 1月22日(土) 13:00-15:00

1月23日(日) 13:30-15:30

【会場】 同志社大学 今出川キャンパス 神学館3館チャペル

1/22 講師：イラン・トロエン（ブランダイス大学教授）

“The Right to the Holyland: Contending Jewish and Arab Claims of Legitimacy”

(聖地の権利：ユダヤ、アラブの正当性をめぐる論争)

1/23 講師：アヴィグドール・シンアン（ヘブライ大学教授）

“The Life of the Man Abraham as Reflected in Ancient Jewish, Christian and Moslem Literature”

(人間アブラハムの生涯－ラビ・ユダヤ教、キリスト教、イスラームにおいて)

参加費無料・事前申し込み不要、いずれも逐次通訳あり